

作

一〇一〇 受信二二五三五 電〇四七七四 作

作戰特別緊急

作

聯合艦隊各口・第六基地航空部隊
大海參一部・佐領・菲島空・?

密

機密第一〇一六五〇番電

三七悉線 (モリタ大尉) 報告

一五二〇都井崎ノ一八七度四〇〇選ニ敵機動部隊 (航母大型二隻

巡洋艦驅逐艦約十隻針路)ヲ發見セリ

通電三九八 才八 (三六二三IC) 小口夕暮地

緊
急

一〇一一
受信〇〇二一〇八
譯了〇四〇五
電〇〇四九八〇六七
作概

七

七基地航空部隊戰團概報着信艦所

五二航空基地

機密第一〇一六五一番電
二分ノ一二

二A B戰團概報第四八號(十月十日) 其ノ一

〇九〇五・二〇〇度五五斤ニ敵哨戒機ヲ探知零戰五機ヲ以テ邀撃セ
ル之ヲ補捉セズ

二二二二。二四〇度一八〇斤ニ敵編隊(BI二四 十六機)ヲ探知
零戰九二式水戰一機ヲ以テ邀撃敵ハ燒夷散彈一二南揚陸場附近ニ島

ノ北東ヨリ延三三來襲二〇投彈南方ニ遁走

戰果大破四被害飛行機

(イ) 零戰被彈(修理可能)一機

(ロ) 零戰小破(修理可能)一機

五五
四四
九九
八八
呂一
五ラ
十四
四〇
四〇
四〇
五
KKG
三
A
F
上
責

(一) 水警隊兵舎一炎上

(二) 二十五耗機銃彈一八四五發十三耗機銃彈七二〇發被彈

(三) 人員戰死准士官一名兵一名

其消耗彈(殘彈一八)十二種高角砲二七門(五三八)七・五種野戰高

射砲六門(八四六)

六天山三樓ヲ以テ左ノ哨戒ヲ實施異狀ナシ

一三二發進(八・一六・三四)進出距離一五〇哩右折五〇哩一五

〇〇斷投。



(Handwritten mark)

(Handwritten mark: 12)

一〇一一 受信〇〇五三四 譯始〇〇五三五 譯了〇六二〇 電〇四九四一 作密

作戰緊急

鹿屋空基地

六基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密一〇二一五番電

丁攻撃部隊戦闘概報第一號(一〇月一〇日)

陸攻五機(内二機引返ス)飛行艇四機ヲ以テ一イニイノ敵ノ捕捉觸接ヲ企ツルモ十一日〇一〇〇ニ敵情得ズ夜間攻撃ヲ断念セリ飛行艇ハ尙〇四〇〇迄索敵ヲ續行全貌偵知ニ努ム。

通五五五六 一〇二一四(三七二二)五五〇(鹿屋)

作戦特別緊急

局長	一課長					
A	B	C	D	E	F	G

作戦特別緊急

鹿屋航空基地

一三二八 電〇五六七一 作

第二航空艦隊司令部

第六基地航空部隊戦闘編組報告信艦所・聯合艦隊司令部



機密第一二一〇〇六号電

丁攻艦部隊電令作第一四號

一、丁攻艦部隊ハ本月十二日薄暮、夜間航空戦ヲ以テ臺灣東方海面所在

敵機動部隊ヲ一撃ニ撃滅セントス

二、各部隊ハ左ニ依リ作戦スベシ

(1) 偵察隊ハ彩雲四、銀河一(ハ)一〇三〇鹿屋發進都井崎ノ二〇八

度、二二〇度間八二〇哩圏索敵觸探スベシ

通六四二七 於八(六)七(七)佐編



(四) 攻堅隊 (K五〇一、K七〇三、K七〇八) 自一二〇〇至一三

〇〇ニ發進、海邊接戰攻陣スル

三 飛行機隊ノ歸投基地ヲ高雄、臺南、臺中、新竹方面基地トス。

6

作戰緊急

一〇一一二 受信一三四七 譯丁一三四九 電〇五六八〇 作



支那方面艦隊口

大海參一部・第一、第三各航空艦隊口・南西方面艦隊口

第二航空艦隊口

機密第一二二一一一五番電

聯合艦隊司令作第三四六號

支那方面艦隊司令長官ハ指揮下戰艦機全力ヲ臺灣ニ集中シ作戰ニ關シ第
六基地航空部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケシムベシ
臺灣國進時機及集中基地ハ戰況ニ適應スルガ如ク第六基地航空部隊指揮
官之ヲ指示スルモノトス。

通六四〇〇 呂一四・三一四 () 〇三三

(5)

一〇一三 受信〇〇九一八 譯了〇九三〇 電〇六一八三 作 檣

至 急 馬 公 根

作

海護總口・大海戦力補給部・一海上護衛隊
二航空艦隊口(高雄航空隊)

機密第一二二二二〇番電

發 山之内大尉

十一日臺灣東方海面夜間索敵ニ發進セル九七式飛行艇二機(八八・八三號)馬公着敵第一次攻撃ニ依リ八三號第二次攻撃ニ依リ八八號火災沈没搭乗員暗號書水晶無事

通七〇四二

才八(一三五二〇K)高通

人

一〇一一二 受信 一四一〇五 了 一四三六 電〇五七〇二 作標

作戰緊急



海軍省。聯合艦隊司令部。海軍省。聯合艦隊司令部。西方面艦隊司令部。佐賀。支那方面艦隊司令部。

海軍省第一二二一三〇電



敵機ハ第一回ニ引續キ同様ナル編隊ヲ以テ潮州東港馬公高雄西港屏東蘭嶼鼻ニ來リ高雄港外ニハ撥雷ヲ投入セリ(〇九三〇一〇

四五)

三 敵機 東港大港一編隊水五機 炎上ジユ山及高雄港外ニ火災一ハ二ヶ所迄ノ砲撃被

三 敵機 砲撃中

四 敵機 上空飛來ノ敵機ハ一三三二分區標識ナリ 通六四五九 於八(一三五二〇) 高雄

9

一〇、一三
受信一七二三 譯了一八三〇 電〇五八二八 作
譯始一七五五

作戰緊急

傍

大分、大村、鹿兒島、指宿、出水、串本各航空基地
笠原、宮崎、國分各航空隊

鹿屋航空基地

機密第一二一一三〇香電

發 二 A P 首席參謀

在九州支那方面艦隊大基地航空部隊可動全兵力ハ十四日頃臺灣ニ轉
進可能ノ如ク各隊準備ヲ進メ置カレ度所要輸送機ノ割當ハ後報ス但
シ海上轉進ニ關シテハ既報通り。

通六六〇六

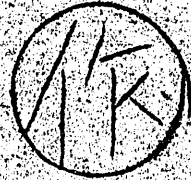
呂二Bラ一四(六七C)佐通

10

作戰緊急

一〇一二 受信一三三〇 譯了二三四五 電〇五六八一 作
開始一三四〇

三二 通信隊



第三第五基地航空部隊
大本營海軍部・聯合艦隊口・南西方面各部隊口・第二航空艦隊口

機密第一一二一二三三五番電

N S B 電令作第六四八號

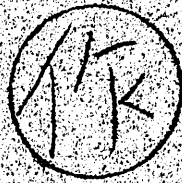
一、五 F G B ハ 全力ヲ以テ臺灣ノ南東ノ敵機動部隊ヲ擊滅スベシ
二、三 F G B ハ 特命アル迄現任務ヲ續行スベシ。

通六四三五 於八(八八八四 KC)卅一通放

作戰特別緊急

一〇一〇二 受信一四五〇 譯丁一三三三 電〇五七一三 作

◎ 横須賀 鎮守府



◎ 第一一聯合航空隊

◎ 大海參一部・第三航空艦隊中・夏 月

機密

機密第一二一三二二三密電

發 機密横領信電令作第六九一號

聯合艦隊電令作第三四〇號南聯

第十一聯合航空隊司令官、第三航空艦隊ノ協賛ニ應シ第三航空艦隊

兵力ノ増進ニ全力協力スベシ。

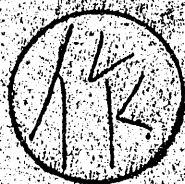
通六四六八 呂二日ヲ十四 (日) 横須賀

一〇二三 受信開始 〇〇〇一三三 一〇〇二三四 〇六〇二三 作極

作戰緊急

第一海上護衛隊

海上護衛總局



大海軍一部、應援空・二三航隊、高警・二二航隊、
聯合艦隊、第一航空艦隊、第一南遣艦隊、

機密第一二一三五〇電

第三次來襲一二四三ヨリ一三三〇ニ亘リ高雄商港敵艦上爆撃機二〇數
機宛三回ニ亘リ第三次爆撃ヲ受ク船舶港内諸施設ニ相當ノ損害ヲ
与ヘタリ。

通六九九六

於八(三二〇〇IC)佐世保

一〇一二 受信一七四四 譯始一八四五 譯了一九二〇 電〇五八六八 作

作戰特別緊急



第一航空艦隊

鹿屋航空基地

第六基地航空部隊。聯合艦隊口。第三航空戰隊。第四航空戰隊。第五航空戰隊。第一機動艦隊。

機密第一二二五三六番電

概作

發。二A。首席參謀

機動艦隊參謀打合ノ結果三・四航空戰隊展用基地ヲ左ノ通 頁ス

一、第三航空戰隊全部鹿兒島（差當リ可動兵力零戰二六機戰爆二三天山

二九機上 偵察機五機）

二、第四航空戰隊零戰四〇機 鹿屋艦爆九機 國分天山一〇機 鹿兒島水爆一

二指宿。

通六六一八 留廿ヲ十四（七五〇五机）（鹿屋 生

0341

1744
1745
1920
05868

受信
1744
1745
1920
05868



● 二 航 空 艦 隊 口
● 聯 合 艦 隊 口

一〇一二 受信一七六五六 譯了二七一九 電〇五七九七 作

● 鹿 屋 空 基 地

機密第一二二一五〇〇番電

發 丁 攻 擊 艦 隊 指 揮 官

K 五〇一 銀 河 二 三 機 (雷 裝 一 二 爆 裝 一 〇 照 明 二) K 七 〇 三 陸 攻 一 八
(全 機 雷 裝) 一 三 〇 〇 發 進

通 六 五 九 〇 才 八 (七 五 〇 五 五) 鹿 屋 空 基 地

15

一〇二一〇受信一八七五〇
開始一八〇五〇
訂了一八二〇
有〇五八三三
作稿

作戰緊急

海軍省・海上護衛隊
聯合艦隊司令部

高雄警備府

三航空艦隊司令部・南西方面艦隊司令部・佐賀

機密第一二一五〇五番電二分ノ一



第三次第四次一〇〇一四一五）連續攻撃状況

一鳳山（送信所）東港高雄（小港飛行場商港要港）砲撃機二架

二哨戒艦隊及地上砲火ニ依ル艦隊砲撃四機

三船舶 警備港港外沈没一隻港内火災帶七白丸ノ外一隻要港火災

二隻

四其ノ他東商港二、三箇所及鳳山ニ火災アリ。

一電信線能 本電二分ノ二未定

通六六四七 於八（一三五二〇四）高雄

参考



發 三A 首席參謀

差當り第二兵力部署ヲ左ノ通り變更サレ度

一 第三及第四集團指揮官ヲ第七六三海軍航空隊司令(佐多大佐)ニ改

二 第二集團第四爆撃隊(三艦爆隊)ヲ第四集團ニ編入ス。

通六九〇一 呂一Bラ一四(四〇四五K)鹿基地

局長	急	王勇			
B	K	I	赤		
E	J	G			

機密第一二二一五五一番電

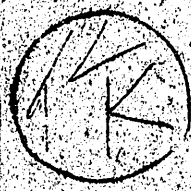
受信〇〇一三五〇 譯了〇三四〇 電〇六〇七四 作 區

鹿屋 航空 基地

一〇一二 受信一七五五 譯了 一八一〇 電〇五八三〇
△作

緊急

海上護衛總司令部



機密第一二一五五一番電

三南護衛隊司令部、一、二各航空艦隊司令部
聯合司令部、二五航戰、三一航戰

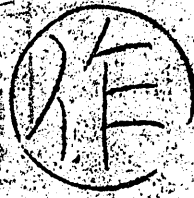
一五〇〇ヨリ一五三〇東港小湊兩飛行場及高雄要港ニ敵機襲撃合計
約五〇機宛來襲。

通六六四一 対八 (一三五二〇K) 高通

519

作戰緊急

一〇一一二 受信二二五〇〇 譯了二三〇〇 譯〇五九八五 作



先遣部隊

◎ 大本營海軍部・東京海軍通信隊

◎ 總無線艦所用共通符號

聯合艦隊司令部
吳鎮守府
第五基地航空部
第六基地航空部
第一通信隊

機密第一二一六三〇番電

日電令作一七二號

伊號第二六 潜水艦、伊號第三七潜水艦、伊號第四五潜水艦、伊號第二

六潜水艦、伊號第三七潜水艦、伊號第四五潜水艦、伊號第五三潜水艦、

伊號第五四潜水艦、伊號第五六潜水艦ハ聯合艦隊司令部作第三四三號ニ基

キ左ニ依リ敵機動部隊ヲ邀撃スベシ

通六七四六 呂二〇。ラ一四(五三九五)六四口 野

一、内海西部出撃期日

伊號第二六潜水艦、伊號第四五潜水艦 十月十三日

伊號第五四潜水艦、伊號第五六潜水艦 十月十五日

伊號第五三潜水艦 十月十九日

伊號第三七潜水艦（後令）

二、各艦進出經由地點

伊號第二六潜水艦 → 又々〇〇

伊號第四五潜水艦 → 〇〇〇〇

伊號第五四潜水艦 → ニ々〇〇

伊號第五六潜水艦 → ネ々〇〇

伊號第五三潜水艦 → ム々〇〇

伊號第三七潜水艦 → キニ〇〇

三、配備

第四散開配備（矩形配備）基點へホ力〇〇、鴉洲島方向一二三〇度

(H)

距離八〇哩、伊號第五三潜水艦、伊號第五六潜水艦、伊號第五四潜水艦、伊號第二六潜水艦、伊號第四五潜水艦、伊號第三七潜水艦ノ順序「夕ニ示ス」。

0349

1915
1920
1930

機 作
05220

一〇一二 受信一九二〇
一〇一三 開始一九二〇
一〇一四 開始一九三〇
一〇一五 開始一九三〇
電〇五八八〇 作
機



第五次(一四三〇一五三〇)狀況

一約二〇〇機ノ戰機數額ニ分レ高雄方面ニ於テ小港飛行場鳳山岡山要港

地區ニ來襲

二要港地區地上砲火ニ依リ擊墜四機

三被撃墜メテ輕微ナリ

四艦後半島沖ニ浮上潜水艦ヲ認ム一五三〇監視哨。

通六六八九 於八(一三五二〇)高道

作戰緊急

10 DII 受信二二四二 譯了二二〇八 電〇五九五六 B作 六讀



● 第二航空艦隊

● 第六基地航空部隊戰團報着信繼所

● 一四聯合航空隊

機密第一二二六五二番電

合

第十四聯 航空隊戰訓速報

一 本日〇七二〇ヨリ敵F六F約三〇機 以上ト當隊零戰二一型三六機交

戰情況ヲ見ルニ敵ノ上昇力格段ニ大ナルモノノ如シ

二 同空戰ニ參加セル敵搭乗員技倆ハ極メテ空戰射 技倆優秀ナルモノ

ノノ如シ。

通六七八八 於八 (四〇四五KG) 二A F

人

作戰緊急

一〇一五 受信〇八五四〇五 譯了〇九一〇 電〇七二九七 作 檣

作

二航空艦隊口

六基地航空部隊戰團概報着信艦所

通報表示 東 通

機密第一二二六五二番電

二分ノ二

三制空隊ト空戰開始後約三〇分ニテ降下爆撃ヲ開始

四敵機ハ概ネ太陽ヲ脊ニシテ降下爆撃ハ三〇度乃至四〇度ヲ實施投

下高度概ネ三〇爆撃精度良好ナリ。

（電信課註 本電二分ノ一未着）

通九三八六 於八（二三五二〇KC）高通

一〇一二 受信一九三六 譯丁一九四〇 電〇五八九〇 作
作戰特別緊急



二五航空戦隊
聯合艦隊

鹿屋航空基地

機密第一二二七四五番電

發 丁攻撃部隊指揮官

宛 K二六二・九八戦隊

敵機動部隊三群

- (イ) 一イサ・一七一五地點へリニ針路南東速力二〇節
- (ロ) 三口キ・一七二〇地點ツウニキ針路南東速力二〇節
- (ハ) 四イキ・一六四〇地點ツスニキ。

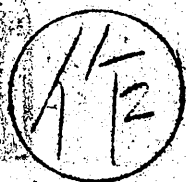
通六六九〇 於八(一〇四〇〇)佐通

25

作戰緊急

一〇 一二 受信二二三三
譯始二三〇〇
譯了二四〇〇 電〇六〇二九 作

鹿屋航空基地



第六基地航空部隊戰鬥概報着信處所

機密第一二一七四三番電

丁部隊警戒遠報第三號 (十月十二日)

○ 哨區 (二三乃至三一) 警戒五七〇三陸攻五機〇四五〇乃至〇六二五

ヨリ基地發進一五三〇迄ニ四機鹿屋ニ歸着敵情ヲ得ス

○ 二五番線〇九三〇一我不時着スルヤモ知レズヲ發信後感ナク未歸渡

天候晴又ハ三〇〇濕附近ニ雨アリ視界二〇濕。

通六八六六

於八(六七〇)佐世保

26

一〇一二 受信二二二六 譯始二二三五 譯了二一四五 電〇五九三六 作

作戰特別緊急

台東航空基地



一四聯空・六基地航空部隊・台南空

機密第一二二八〇〇番電

一六〇艦上攻撃機三機索敵出發一機一七四五歸着敵情報告

戰艦一隻巡洋艦二隻驅逐艦三隻位置台東ノ一〇〇度九六涅歸途グラマ
ンニ遭遇。

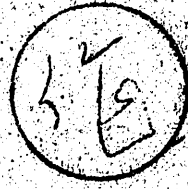
通六七五六 於八(八八八四KG)三一通

一〇一二 受信二三三三〇〇 譯了二二五八 電〇五九七二 作
譯始二三三四〇〇

作戰特別緊急

●鹿屋航空基地

●南西方面艦隊司令部、第一航空艦隊司令部



●聯合艦隊司令部、第二航空艦隊司令部

機密第一二一八三七番電



發 二二八 參謀

左ノ三群ニ對シテ攻撃部隊約一〇〇艘（内雷艇約七〇）薄暮及夜間攻

撃實施中

一六三〇地點ツスニキ（碎雷各四イキ）

一七二〇地點ツウニキ（三〇イキ）

一七一五地點ヘリニイ（一イイ）何レモ針路南東速力二〇節兵力不詳。

通六八一四 於八（B）佐世保

先規

局長	局長	局長	局長	局長	局長
A	B	C	D	E	F
高	高	高	高	高	高
海上護衛隊	海上護衛隊	海上護衛隊	海上護衛隊	海上護衛隊	海上護衛隊
六基地航空部隊	六基地航空部隊	六基地航空部隊	六基地航空部隊	六基地航空部隊	六基地航空部隊
東港	東港	東港	東港	東港	東港
航空	航空	航空	航空	航空	航空
基地	基地	基地	基地	基地	基地

一〇一三 受信〇七三四 轉工〇八〇〇 電〇六一三五 作概

一海上護衛隊 六基地航空部隊 東通

機密第一二一九〇二電

發 呂床海威部隊指揮官

段 國速報第一號

一 十二月〇八〇〇ヨリ一〇〇八迄敵戰爆延三〇數機東港基地ニ來襲

地上砲火ニヨリ反撃撃退

ニ 戰果ナシ

三 被害

(1) 飛行機水偵九機失更ニ觀測機二機中破

通七〇〇九 一於八(一三五二〇) 高雄

(口) 第一格納庫破燬燒損其ノ他建造物ノ一部ニ若干被害

(ク) 人員戰死兵一輕傷數名

四使可能機九五三空本隊水偵一八(内一六機ハ淡水及厦門ニ避退中)

30

8580

10. 126
受信 2030
開始 2035
終了 2042

重 05927
作



緊急

一〇一一二
受信二〇三五〇

終了二〇四二 電〇五九二七

作

鹿屋航空基地

機密第一二一九一三番電

發 三本 首席參謀

捕虜訊問ニ依ル參謀本部ヨリノ情報ニ依レバ敵機動部隊ハ四群ニシテ明
十三日臺灣再ビ空襲ノ上P8ニ歸投豫定ノ由ヲ攻撃隊ハ今夜急速補給ノ
上未明前出發九州ニ歸投ヒシムルヲ可トス。

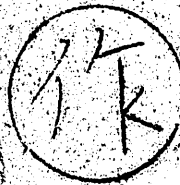
週六七三五

於八(七三一〇)EC

31

作戰特別緊急

一〇 一一三 受信二三五七 譯了〇〇三三 電〇〇五九一九九 〇〇六〇一九二 作



二航空艦隊P・丁攻撃部隊

第六六基地航空部隊戦闘機報告信送所・聯合艦隊P

機密第一二二二〇〇三番電 二分、一三

丁攻撃部隊電令作第一六號

一在九州方面丁攻撃部隊へ本十二日二〇〇〇以後攻撃（避退）二時間

待機トナセ

二丁攻撃部隊へ臺灣方面來襲中ノ敵機動部隊ヲ連續攻撃所在殘敵ヲ擊

滅セトナス

三明十三日各隊へ急速臺灣進出準備完了ナル外左記ニ依リ作戰スベシ

(1) 攻撃隊・一三・一四偵〇四四五以後攻撃（避退）一五分間待機

(2) 戦闘機隊ハ〇四四五以後遂に一五分間待機

通六八七六 於八（四〇四五K）鹿屋

- (一) 一偵〇四四五以後索敵觸接一五分間待機
 - (二) 第一掩護隊入可動全力(改消)日出時鹿屋進出待機
 - (三) 飛行艇ハ夜間觸接ニ備フベシ
- 四 臺灣方面進出時機ハ特令ス。

緊
急

一〇 一三時受信〇五〇八
譯始〇五四八
譯了〇六一五
電〇六一二一
作



東海北航路船團通報處所・?

二航空艦隊F・吳鎮・洲ノ崎空

機密第二二一九一〇番電



發 第十二聯合航空隊司令官

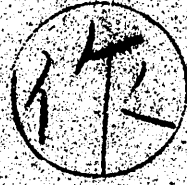
十二聯空電令第一七號

一 元山空司令ハ零式輸送機一機ヲ派遣第六基地航空部隊ノ輸送ニ協
カスベシ

二 司令ハ偵察員一名ヲシテ元山空零式輸送機ニ搭乗右任務ニ協力セ
シムベシ

通六九五八 呂二七ヲ十四(六七四)佐世保放

WF



作戦緊急
一〇 一六五 受信二三五〇〇 開始〇三〇五〇〇 講了〇三四五 電〇七七八八 作 概

二航空艦隊

五二二航空隊

〔通報表示〕東京通信隊

機密第一二二二〇〇番電

三分ノ一

第一四聯空戦闘海報(十月十二日)

一、哨區哨戒、哨戒速報通

二、臺東

(イ) 第一次〇五一五ヨリ第一乃至第四哨戒線發進〇六〇〇臺東ノ

八六度六〇溷ニ空母ヲ含ム敵部隊ヲ發見(飛行機名不明)第

一哨戒線ノ外〇七一〇迄ニ歸着

(ロ) 一六一〇第二第三第四線發進一六五〇戰艦一巡洋艦二驅逐艦

通九九八二 於八(四七〇五R)高通

(一)

三喜東ノ一二三度九六淫ニ發見現在二機各自歸還

三邀撃ヲ見ル(臺南基地)

(1) 〇六二五ヨリ上空ヲ哨戒中〇七二〇敵グラマン約三〇乃至四

〇機ノ攻撃ヲ受ク交戦(我零戦二一型三六機)

一電信課註 本電三分ノ三。三既配布

26

一〇一五 受信一八七五五 譯了一八二〇 電〇七五四八 作 概

作戰緊急

一四聯空

第二航空艦隊口

第六基地航空部隊戰術報告信艦所

機密第一二二二〇〇番電三分ノ二

(ロ)〇七五〇敵艦爆三〇乃至四〇機ノ銃機受ケタルモ反撃撃退ス

(ハ)一六三〇零機三一型一〇機發進セルモ交戦セズ

四 戰 果

(イ)空戰(落乗員由特)確實一〇機不正確六機

(ロ)地上砲火一機

五 被 害 (全部零機)

(イ)自爆八機未爆還八機

(ロ)落下傘降下四機

九七〇〇 才八(一三五二〇)高機

(6) 地上焼失四摺。

一 電信課註

本署三分ノ一未着
本署三分ノ三既配布

[Faint, illegible vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

32



作戰緊急

一〇一三

受信〇三〇五
開始〇四〇〇

譯了〇四三〇 電〇六〇八九 作 概

二航空艦隊F

一四聯合航空隊F

六基地航空部隊戰術概報着信艦所

機密第一二二二〇〇番電 三分ノ三

(一) 滑走路異状ナシ

(二) 施設損害小

(三) 燃料燐弾被害ナシ

六明十三日實動機動

(イ) 九六式艦爆二一型十二機

(ロ) 銀河二機

(ハ) 九七式艦上攻撃機二

(ニ) 十三日午後迄ニハ艦攻八機艦爆隊九機使用可能ノ見込

古其ノ他ニ尾臺中第二臺南損害小第二高雄不明

(電信課註 本電上未着)

通六九三六 於八(四〇四五)二航空艦隊F